

令和8年度 学力向上のための重点プラン【小学校】 新宿区立四谷小学校

■ 学校の共通目標

【HP公開用・様式1・令和8年5月1日】

授業作り	重 点	個別探究を支える基礎的・基本的な言語能力や考えるための技法の定着とともに、学習の目標を達成するための協働的な学習活動の充実を図り、「自分発—みんな経由—自分行き」の授業づくりを目指す。
環境作り		モジュールの時間や家庭で学習をする際、デジタルドリルで基礎的な学習内容の復習に取り組むことができるようにするとともに、教室でミニホワイトボードや移動式ホワイトボードを活用して考えの視覚化を図り、協働的な学習を推進できるようにする。

■ 学年の取組について

学 年	学習状況の分析 (各種調査から)	学校が取り組む目標 (日常の授業の様子から)	目標達成のための取組
1 学 年		①国語では、とめ・はね・はらいや書き順を意識して正しい文字を書くことができるようにする。 ②算数では、数の構成について理解できるようにする。	①ひらがなプリントのお手本を丁寧になぞって書くように指導を重ねる。 ②具体物や数ブロックなどの半具体物を使って数のまとまりを作り、問題を考える学習活動を設ける。
2 学 年		①国語では、漢字や身近なことを表す言葉を正しく使って、自分の意見や考えを伝えることができるようにする。 ②算数では、数の意味や表し方、立体の性質について理解できるようにする。	①自分が書いた文章を読み返して間違いに気付くことができるように指導するとともに、友達の文章のよいところを見付ける学習活動を設ける。 ②具体物の効果的な活用を図り、折り紙を折って分数で表す学習活動や、箱の形を観察して面の形や頂点の数等を調べる学習活動を設ける。
3 学 年	【国語】 新宿区学力定着度調査において、全体では区平均を3.4ポイント上回っているが、文章を読んで考えたことを表現する「活用」に課題があり、自分の考えを表現する力を育てる必要がある。 【算数】 新宿区学力定着度調査において、算数全体では、区平均を4.9ポイント上回っているが、「活用」のポイントに課題が見られた。	①漢字の正しい読み方や書き方を習得できるようにする。 ②説明的文章の内容についての理解をもとに、自分の考えをまとめることができるようにする。 ③3位数、4位数の加法・減法などの計算の仕方やかかけ算九九の復習、二等辺三角形や正三角形の性質等、基礎的な学習内容を理解できるようにする。	①モジュールの時間で新出漢字の読み方や書き順を全体指導するとともに、国語復習プリントを活用して既習の漢字の習得を図る。 ②説明的文章における学習のまとめとして、分かったことや考えたことを伝え合う活動を設ける。 ③算数復習プリントやデジタルドリルを活用して、たし算やひき算、かけ算などの基本的な学習内容を家庭でも復習できるようにする。
4 学 年	【国語】 新宿区学力定着度調査において、国語全体では区平均を4ポイント、全国平均を2.7ポイント下回る。特に「漢字の書き」では区平均を8ポイント、「情報の取り扱い」では2.7ポイント、正答率が区平均を下回った。 東京都の学びに向かう力等に関する意識調査において、「わからない単語や表現があれば、辞書などでしっかりと調べて使うようにしている。」という項目が他の項目を下回った。	①漢字の正しい読み方や書き方を知り、文章を作る際に活用できるようになる。 ②新出の単語、分からない単語が出た際に、児童自身が辞書を活用して調べられるようにする。 ③正しい式の書き方を知り、問題場面に応じて立式できるようにする。また、正しく計算して答えを出すことができる。 ④図形ごとの特徴を理解するとともに、正確に作図をすることができる。	①モジュール学習において小テストを單元ごとに実施して定着を図る。授業のノートにおいても漢字を使用することを促す。 ②辞書の使い方を指導する。また、児童が日常的に辞書を引くことができるように教室環境を整える。 ③授業において基礎計算について見直す場面を設け、復習できるようにする。授業において問題場面と式の関係性を確認する。 ④辺、角、頂点など図形の構成要素から、図形の特徴を理解できる

	<p>【算数】 新宿区学力定着度調査において、算数全体では、区平均を4.7ポイント、全国平均を1.7ポイント下回る。「加法減法」では区平均を5.0ポイント下回り、「平面図形」では8.3ポイント「立体図形」では7.8ポイント下回った。</p>		<p>ようにする。また、基本的な作図方法を徹底して指導し、用具の使用方法について習熟が図れるよう学習場面を十分に設ける。</p>
5 学 年	<p>【国語】 新宿区学力定着度調査において、国語全体では区平均より3.7ポイント下回った。中でも、「説明的な文章」は6.2ポイント、「活用」は、5.4ポイント区平均より低かった。</p> <p>【算数】 新宿区学力定着度調査において、国語全体では区平均より1.2ポイント下回った。中でも「平面図形」では5.7ポイント、「表やグラフの特徴」「活用」では、3.2ポイント下回った。</p>	<p>①説明的文章の学習において授業改善を行い、思考場面を増やす。</p> <p>②「平面図形」の学習では、作図の仕方を丁寧に指導する。</p> <p>③「平面図形」や「表やグラフ」の学習では、ディスプレイ型電子黒板を活用して分かりやすい授業を行う。</p>	<p>①説明的文章における学習のまとめとして、分かったことや考えたことを伝え合う活動を設ける。</p> <p>②作図の仕方を理解させ、作図に取り組む学習の時間を確保し、繰り返し取り組ませる。</p> <p>③ディスプレイ型電子黒板を活用して、視覚的に分かりやすい授業を行う。</p>
6 学 年	<p>【国語】 新宿区学力定着度調査において、全体では区平均を2.3ポイント上回っているが、叙述を基に考えを表現する「活用」が0.5ポイント、「話すこと聞くこと」の正答率が2.3ポイント区平均を下回った。</p> <p>【算数】 新宿区学力定着度調査において、算数全体では、区平均を4ポイント上回っているが、「活用」のポイントに課題が見られた。</p>	<p>①文章によって自分の意見や考えを表現することができるようにする。</p> <p>②相手の反応を踏まえながら、自分の考えを伝えることができるようにする。</p> <p>③演算決定の理由や図形の見方など考えたことを伝える力を高めるようにする。</p>	<p>①定期的に作文の宿題に取り組み、自分の考えや経験を文章に表す活動を増やす。</p> <p>②授業中のペア学習・小グループ学習を設定し、友達と意見を交流する頻度を高めるとともに、友達の考えに対する共感的態度の大切さについて指導する。</p> <p>③立式の際に図や言葉を通して根拠を表現させたり、図形の多様な見方を話し合う活動を取り入れたりし、考えを深め合える指導をする。</p>